

## 令和●●年度 農地等の利用状況報告書

自 令和●●年●●月●●日  
至 令和●●年●●月●●日

令和●●年●●月●●日

能勢町農業委員会会長 様

住所 能勢町●●1234  
氏名 株式会社能勢  
代表取締役 能勢 太郎  
電話番号 ●●●-●●●-●●●●

農地法第6条の2第1項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

## 1 農業経営基盤強化促進法第18条第2項第6号に規定する者等の氏名等

氏名	住所
株式会社能勢 代表取締役 能勢 太郎	能勢町●●1234

## 2 報告に係る土地の所在等

所在・地番	地目		面積	作物の種類別作付面積 (又は栽培面積)	生産数量	反収	備考
	登記	現況					
能勢町▲ ▲●●	田	田	1,000	水稻	●●kg /10a	●●kg /10a	

※土地が3筆以上の場合は、別紙を用意し上記項目すべてを記載して提出してください。

3 農業経営基盤強化促進法第18条第2項第6号に規定する者が行う耕作又は養畜の事業がその農用地の周辺の農用地の農業上の利用に及ぼしている影響

周辺農地と同等の営農を行っており特に影響はありません。

4 地域の農業における他の農業者との役割分担の状況

●月の地域の水路清掃に●名、●月の清掃活動に●名が参加しました。

5 業務執行役員等の状況（法人の場合）

氏名	常時従事者の役職名	耕作又は養畜の事業の年間従事日数
大阪 太郎	取締役	200日

6 その他参考となるべき事項

※定款の写し、その他参考資料を添付してください。

(記載要領)

- 1 不要の文字は抹消してください。
- 2 報告書を提出する者が法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款又は寄附行為の写しを添付してください。
- 3 記の2の「報告に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。
- 4 記の3の「農地法第3条第3項の規定の適用を受けて同条第1項の許可を受けた農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼしている影響」には、例えば、病虫害の温床となっている雑草の刈取りをせず、周辺の作物に著しい被害を与えていないか等を記載してください。
- 5 記の4の「地域の農業における他の農業者との役割分担の状況」には、例えば、農業の維持発展に関する話し合い活動への参加、道路、水路、ため池等の共同利用施設の取決めの遵守、獣害被害対策への協力等の取り組み状況（今後取り組む場合はその見込み）について記載してください。
- 6 記の5の「業務執行役員又は重要な使用人の状況」については、報告書を提出する者が個人である場合は記載不要です。「耕作又は養畜の事業の年間従事日数」欄には、当該事業年度において法人の行う耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員（耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員がいない場合には、重要な使用人）の耕作又は養畜の事業への年間従事日数を記載してください。  
なお、「重要な使用人」とは、その法人の使用人であって、当該法人の行う耕作又は養畜の事業に関する権限及び責任を有する者をいいます。